

		言葉を探る	人文系〔国語〕	学校設定科目	自由選択	半期	1単位
履修上の注意	特になし						
授業の目標・内容	<p>【学習の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇言葉の意味や使い方を知り、文章の読解力と話し言葉・書き言葉の表現力を高めます。 ◇正しい日本語の使い方を学び、コミュニケーション能力を高め、自分の意思を正しく伝えられるようにします。 <p>【授業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇故事成語やことわざを学習して、文章を理解したり、表現したりする力を高めます。 ◇漢字の成り立ちについて調べ、漢字についての基本的な知識を身につけます。 ◇日本語のもつ豊かな表現力について学習します。 						
使用教材(費用)	自主作成教材						
評価規準・方法など	小テスト、提出物、授業への参加状況等により、総合的に評価します。						
備考	語学力を高めたい人、日本語や漢字に興味のある人は選択するとよいでしょう。						
		人物史	人文系〔地理歴史〕	学校設定科目	自由選択	通年	2単位
履修上の注意	世界史A、世界史B、日本史A、日本史Bのいずれかを履修済であること。						
授業の目標・内容	<p>【目標】</p> <p>日本や世界の歴史上の人物について、さまざまな資料・文献にあたり、自らが課題意識をもって調べることで、多角的・多面的に学びます。また、調べたことをもとに、いろいろな表現方法で作品にします。</p> <p>【内容】</p> <p>学校図書館の図書(新聞、雑誌を含む)やインターネットの関連サイトなどを利用して、歴史上の人物を調べます。また、新聞の形式やインタビュー記事の形式などをつかって、調べたことを作品にするとり組みを行います。作品は、発表、掲示をして、他の受講生徒と鑑賞・評価しあい、自己理解を深めます。</p>						
使用教材(費用)	自主作成教材						
評価規準・方法など	提出物・授業への参加状況などにより、総合的に評価します。						
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史上の人物や歴史そのものに関心・興味のある人におすすめします。 ・作品づくりのためのたくさんの課題があります。 						
		時事問題	人文系〔公民〕	学校設定科目	自由選択	通年	2単位
履修上の注意	特になし						
授業の目標・内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇世界や日本にかかわる諸問題(国家、人種、民族、宗教、政治等) ◇日本国内・国外における政治的問題 ◇日本国内・国外における経済的問題 ◇現代社会における社会問題 ◇現在のニュース等 <p>以上のような問題・課題を採り上げ、現代の国内外の出来事を直視しながら、公平・公正な視点で判断力・思考力等を養うことを目的としています。</p>						
使用教材(費用)	自主作成教材(費用は必要ありません)						
評価規準・方法など	提出物、発表、授業への参加状況などにより、総合的に評価します。						
備考	<p>日々変化する日本国内や国際的な動きの中には、我々の現在や将来に影響を与えると推測されることが数多くあります。マスメディアの報道内容等を検証し、私たちの日常生活はこれからどうなっていくのかを新聞記事等を利用して自分自身の目でとらえ、調べ、考えます。</p> <p>『習うより調べる』を合い言葉に、自分自身で調べることが主眼の授業です。調べ、考えたら、発表して、みんなの意見を聞いてみましょう。思いがけないヒントや良策が見つかるかもしれません。受講人数によって様々なメディアを活用していく予定です。</p>						

暮らしの法律知識		人文系☑(公民)	学校設定科目	自由選択	通年	2単位
履修上の注意	「現代社会」または「政治・経済」を履修済(または受講中)であること。					
授業の目標・内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇法律を学ぶにあたって ◇日本国憲法の復習 ◇日本の法体系 ◇刑法を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・刑法総論・刑法各論 ◇民法を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・民法総則・物権法・債権法・親族・相続法 ◇手続法の概略(訴訟法など) ◇社会問題と法 					
使用教材(費用)	自主作成教材(費用は必要ありません)					
評価規準・方法など	定期試験、提出物、授業への参加状況などにより、総合的に評価します。					
備考	日本の最高法規である憲法を学んただけでは解決できない身近な疑問、日常生活を営む上で日々の生活に役立つ法律知識を民法と刑法を中心に身につけます。					
アクティブイングリッシュ		人文系☑(外国語)	学校設定科目	自由選択	通年	2単位
履修上の注意	アクティブイングリッシュは、「コミュニケーション英語Ⅰ」を履修していないと履修できません。					
授業の目標・内容	<p>英語の技能のうち、とくに聞きとる能力(リスニング)や話す能力(スピーキング)を伸ばすことを目標にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇英語の発声の特徴を学び、英語らしい発音を身につけます。 ◇日常会話に必要な表現を学び、自分の感じたことや考えたことを英語で表現します。 ◇様々な場面における状況や様子を、英語で描写したり説明したりします。 					
使用教材(費用)	自主作成教材・音声教材など					
評価規準・方法など	提出物、小テスト(インタビューテスト)、発表の成果、授業の取り組み状況などから、総合的に評価します。					
備考	真剣に英語らしい発音や表現を身につけたいと思っている人に履修をお勧めします。					
実用英語		人文系☑(外国語)	学校設定科目	自由選択	通年	2単位
履修上の注意	「コミュニケーション英語Ⅰ」を履修していないと履修できません。					
授業の目標・内容	<p>英検教本を使い、中学校で習った語彙、文法の復習をし、英語の基礎を固めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇実用英語技能検定準2級の習得を目指し、特にリスニング、音読・応答練習をします。 ◇新聞、雑誌、映画、インターネットなどの日常生活に関する様々な英語に触れ、その内容を理解する能力を身につけます。 					
使用教材(費用)	教科書・問題集(1500円程度)					
評価規準・方法など	定期試験、提出物、授業への参加状況などにより、総合的に評価します。					
備考	英検3級は中学卒業程度、準2級は高校中級程度、2級は高校卒業程度とされています。準2級から入試優遇措置を得られる大学や短大もあります。英検取得の目標を持って学習しましょう。					

中国語 I		人文系(外国語)	学校設定科目	自由選択	通年	2単位
履修上の注意	特になし					
授業の目標・内容	<p>中国語の基礎的な能力を身につけるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇中国語の音声の特徴を学びます。 ◇基本的な文型や文法事項を学びます。 ◇中国語の日常的な会話を身につけます。 ◇中国語を学ぶことを通して、他国の文化にふれ、あらためて日本文化について考えます。 					
使用教材(費用)	自主作成教材・音声教材・絵カードなど					
評価規準・方法など	定期試験、提出物、授業への参加状況により、総合的に評価します。					
備考	語学の授業なので、欠席は困ります。地道にコツコツ学ぶ生徒に向いています。					
フランス語 I		人文系(外国語)	学校設定科目	自由選択	通年	2単位
履修上の注意	特になし					
授業の目標・内容	<p>日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解する初歩的な能力を身につけるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇フランス語の音声の特徴を学びます。 ◇基本的な文法事項を学び、それを実際に活用して、会話に発展させます。 ◇初歩レベルのフランス語を聞いたり、フランス語で書かれた文を読んだりして、情報や話し手の意向などを理解し、要点をつかみます。 					
使用教材(費用)	自主作成教材					
評価規準・方法など	小テスト、提出物、授業への参加状況により、総合的に評価します。					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・フランス語の発音や基礎的な文法を学び、やさしい日常会話ができるようになることが目標です。 ・フランス人の生活や文化・社会等についても学習します。 ・語学の授業なので毎回の出席が求められます。 ・ペアワーク、グループワークを多く行うので、誰とでもコミュニケーションをとれるようにしてください。 ・真剣にフランス語を学ぶ気持ちのある人が履修をしてください。 					
幼児教育		人文系(家庭)	学校設定科目	自由選択	半期	1単位
履修上の注意	「家庭総合①」「生活デザイン①」または「家庭基礎」を履修していること。					
授業の目標・内容	<p>乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を学び、子どもの健全な成長を考え、子どもの気持ちになって子どもと関わる能力と態度を身につけます。課題学習や発表も行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間発達の中の乳幼児期 2. 乳幼児の発育・発達 3. 乳幼児の生活 4. 乳幼児の保育 5. 乳幼児の福祉 6. 子どもと遊び 					
使用教材(費用)	自主製作教材のため、教科書はありません。別途教材費(実習費)が500円程度かかります。					
評価規準・方法など	授業への取り組み状況、提出物、定期テスト、実習課題のときばえなどにより、総合的に評価します。					
備考	子どもを知り、子どものかかわりを考えていく科目です。保育・幼児教育関係に特に強い興味がある生徒や、その方面への進路希望者を対象としています。					

幼児教育実習		人文系〔家庭）	学校設定科目	自由選択	集中	1単位
履修上の注意	「幼児教育」を履修、または前期に受講中であること。 集中講座のため、全日程出席可能であること。日程などの詳細は実際の募集要項を確認すること。					
授業の目標・内容	「幼児教育」の授業で学んだ保育に関する知識と技術を生かして、保育園に実習に行き、実際に乳幼児とふれあい、学習をします。					
使用教材（費用）	実習のため、特に教材はありません。別途費用（昼食代・保険・検便費用など）として3,000円程度と実習施設までの交通費がかかります。					
評価規準・方法など	実習の取り組み状況、提出物（実習記録）などにより、総合的に評価します。					
備考	実習は夏季休業中の3日間ですが、それ以外に事前・事後指導（5回程度）があります。 実習施設の都合で人数制限があります。希望者多数の場合には抽選になります。					
郷土文学		人文系〔郷土）	学校設定科目	自由選択	通年	2単位
履修上の注意	特になし					
授業の目標・内容	【学習の目標】 ◇三浦半島を舞台にした文学、三浦半島ゆかりの作家について学習します。 【授業の内容】 ◇インターネットなどの媒体を用い、それぞれの作品、作家について調べることを通し、自ら学ぶ姿勢を養います。 ◇作品の研究・鑑賞をおこなうとともに、実地踏査を年に4～5回おこない、文学の舞台を肌で感じ、作品をより身近なものにします。 ◇実地踏査は、休日におこなうこともあります。					
使用教材（費用）	自主作成教材（実地踏査の交通費年間1500円程度）					
評価規準・方法など	小テスト、提出物、授業への参加状況等により、総合的に評価します。					
備考	作品としては「古事記」「神の汚れた手」等、作家は北原白秋、立原正秋、若山牧水、芥川龍之介等について学習します。 彼らが三浦半島でいかにかすごし、どのような文学を世に送り出してきたか、どんな森の木々のざわめきに心を動かしてきたか。それを知ると、今まで何の気なしに歩いてきた小径が輝いてみえるようになるかもしれません。					
郷土史		人文系〔郷土）	学校設定科目	自由選択	通年	2単位
履修上の注意	「日本史A」または「日本史B」を履修済みであること。					
授業の目標・内容	◇三浦半島の地理、三浦半島の歴史について学習します。 ◇インターネットや本を使って、それぞれの時代や関係した人物や事件を調べ発表することで、自ら学ぶ姿勢を養います。 ◇歴史や地理を実践的に学ぶため、学校周辺の社寺や史跡の実地踏査を行います。 ◇実地踏査は、夏休みや休日に行うこともあります。					
使用教材（費用）	・自主作成教材 ・費用…教材費、実地踏査の交通費・入館料等（1000～2000円）					
評価規準・方法など	定期試験、提出物、授業への参加状況などにより、総合的に評価します。					
備考	郷土の歴史や地理を学ぶことは地域の生活を豊かにします 日本史や地理の授業で幅広く学習した内容を、三浦半島や神奈川県という郷土に限定して理解を深め、郷土を知ることによって郷土に対する愛着を深めていきましょう。					

	伝統芸能	人文系(郷土)	学校設定科目	自由選択	集中	1単位
履修上の注意	集中講座のため、全日程出席可能であること。日程などの詳細は実際の募集要項を確認すること。					
授業の目標・内容	<p>調べ学習や体験実習を通じて、郷土のまつり文化や芸能にふれ、日本の伝統的文化への興味・関心を深めることをめざします。和太鼓・篠笛について学び、実際に演奏の指導も受けます。また、篠笛の製作を行い、和楽器の特徴を学びます。つぎの4つの中から1つテーマを選び、まとめをおこないます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 伝統芸能 2. 郷土のまつり文化 3. 和楽器について 4. 和楽器演奏について 					
使用教材(費用)	自主作成教材(教材費用は必要ありません+調べ学習の交通費)					
評価規準・方法など	実習状況と提出物等により、総合的に評価します。					
備考	この授業は、郷土のまつり文化を学び、和楽器などの伝統的な楽器について、歴史・しくみ・つくり方・演奏技術などを学んでいく授業です。この授業を通して身につけた郷土の文化や和楽器についての知識や技術は、将来、みなさんが国際交流の場面におかれたときにも、日本文化を紹介するかけがえのない技となることでしょう。					